

'99 ミニ・ディスクロージャー

見てわかる“しんきん”



新庄信用金庫ステンドグラス「北の春」は、当金庫の本店新築時に郷土出身の一水会会員、近岡善次郎画伯の原画・監修によって制作されたものです。

「北国に春が来て、遠山にまだ雪が残っているのに梅、桃、桜が同時に咲き出し、少し遅れてサクランボの緑がかった白い花が咲く、それが雪のやっとなびく野を埋める。働く人も春の野に出ることは喜びである。春風を胸いっぱい吸って、本当に生きている喜びを味わう。この気持ちの良さは、東北生まれの私にとって最高の喜びとして一生忘れず思い続けることだろう。」

近岡 善次郎



ごあいさつ

平素より格別のお引き立てを賜りまして誠にありがとうございます。また、当金庫の事業に対しまして、ひとかたならぬご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成10年度の国内経済は、景気の長引く低迷から、企業の生産活動は総じて低稼働で推移し、設備投資は過剰感から大幅減少傾向を辿りました。最近の景況は、一部に変化がうかがえるものの、民間需要が低調なため依然として厳しい状況にあります。

当地区の景況についても、全国と同様の動きを示しており、中小企業においては総じて減収減益の状態が続いております。

こうした厳しい経済環境の中、当金庫は1923年（大正12年）6月に創業以来、常に「地域社会の繁栄に貢献する」ことを経営理念として業務に取り組んでおります。

平成11年度も、これまで以上に役職員一致協力して真に信頼される金庫づくりを目指してまいりたい所存です。

今後とも、ますますのご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成11年6月

理事長 井上 作松
 専務理事 井上洋一郎
 常勤理事 小沼 哲也
 常勤理事 塩谷 哲夫
 理事 武田 茂
 理事 岸 英次
 理事 長南義太郎
 監事 岸 宏一
 監事 前澤 慶一

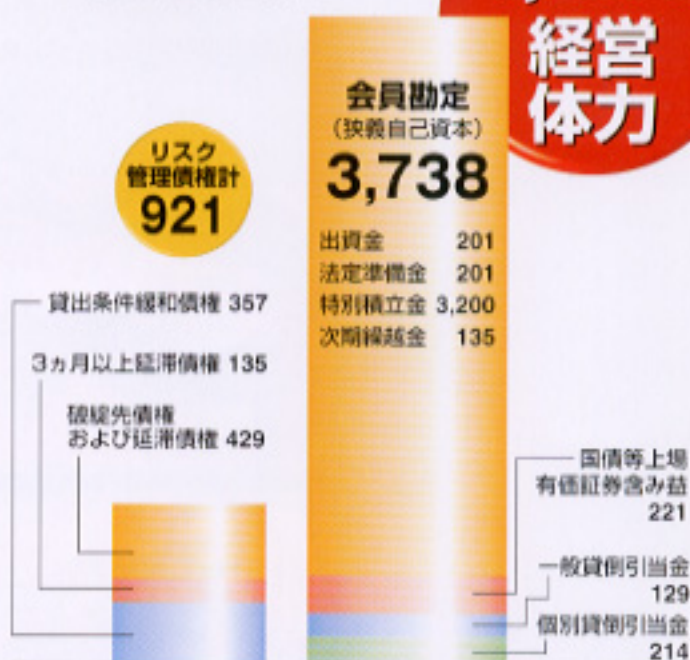
基本方針

- 郷土の繁栄に心から奉仕する
- 内容の堅実な金庫にする
- 和顔愛語に満ちた明朗な庫風を創る
- 待遇の優れた金庫にする

1 経営の安全性と健全性

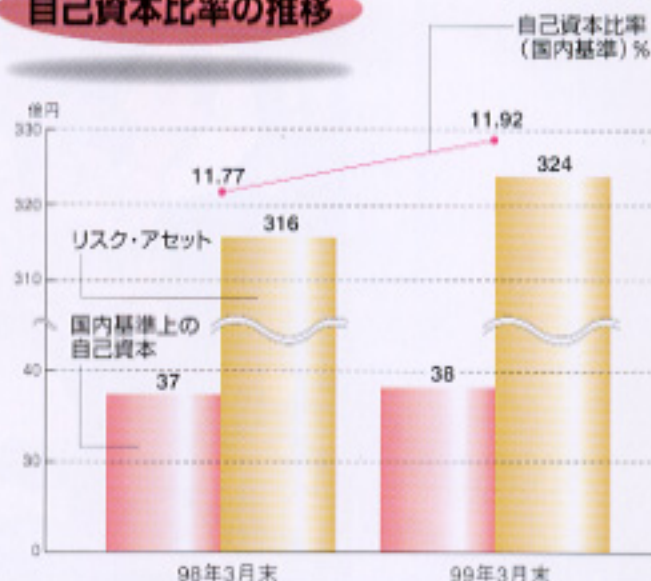
リスク管理債権と経営体力

(百万円 単位未満は切り捨て)



平成11年3月末のリスク管理債権は921百万円となっておりますが、担保などでのカバー分700百万円と個別貸倒引当金対象分を差し引きすると、実質では7百万円に減少します。加えて、一般貸倒引当金も積み立ててあることなどから、当金庫の経営体力は十分に確保されていると、ご認識いただきたいと存じます。

自己資本比率の推移



● 経営健全性の指標

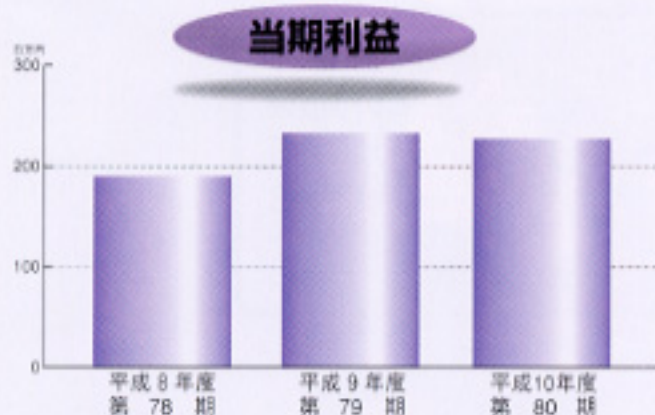
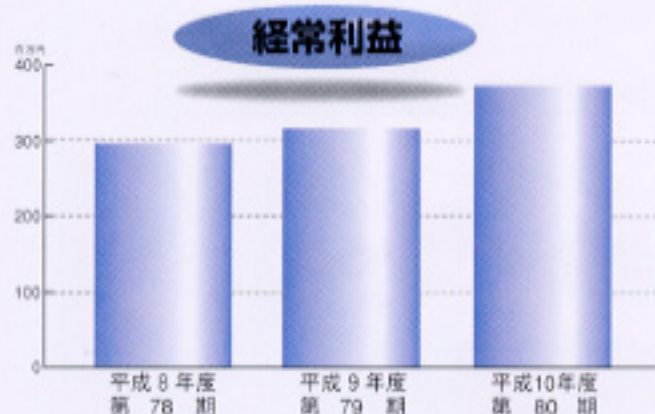
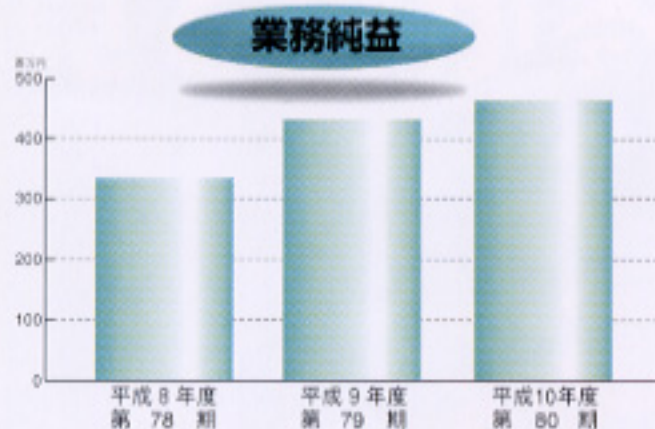
自己資本比率は **11.92%** (99年3月末)
 国内基準の4%を大きく上回っています。

※リスク・アセットは貸出科目別に、簿価に対して、0%～100%までの「リスク・ウェイト」即ち「損失が発生する危険度」に応じた割合を掛けてそれを合計して求めます。

■ 自己資本比率

$$= \frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット}} \times 100$$

2 収益の推移

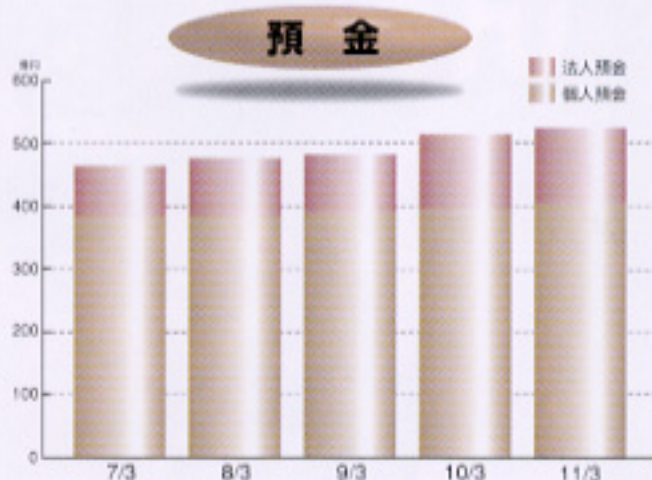


(百万円 単位未満は切り捨て)

	平成8年度	平成9年度	平成10年度
	第78期	第79期	第80期
業務純益	330	431	468
経常利益	296	309	371
当期利益	191	225	223

平成10年度決算は、低金利が続く中、資産の効率的運用と調達に努め、収益力を強化していくと同時に、経営全体の合理化、効率化に努めました結果、本業での利益を示す業務純益は前年比8.6%増の468百万円となりました。また、資産内容の健全化のため自己査定に基づき十分な貸出金等の償却ならびに引当金の繰入を行いました結果、経常利益は371百万円、税引後の当期利益は223百万円となりました。

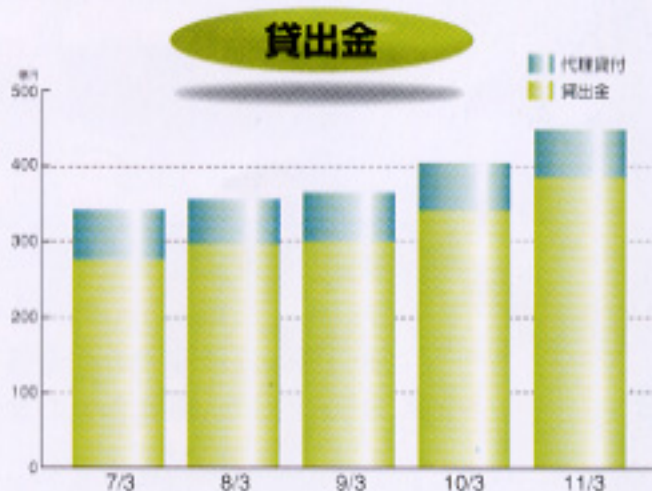
3 預金・貸出金の推移



(億円 単位未満は切り捨て)

	平成7年 3月 末	平成8年 3月 末	平成9年 3月 末	平成10年 3月 末	平成11年 3月 末
個人預金	384	385	388	397	403
法人預金	80	91	96	111	114
預金残高合計	464	477	484	509	517

法人預金、個人預金の堅調な増加により、平成10年3月末と比較し8億円増えました。



(億円 単位未満は切り捨て)

	平成7年 3月 末	平成8年 3月 末	平成9年 3月 末	平成10年 3月 末	平成11年 3月 末
貸出金残高	276	295	299	340	384
代理貸付残高	63	59	63	66	65
計	340	355	363	406	449

地元中小企業向け貸出や住宅ローン、消費者ローン等の増強に取り組んだことにより、貸出金は平成10年3月末と比較し44億円増加しました。また代理業務貸出は、ほぼ前年並みに推移しました。

●信金は皆様のプライベート・バンクです。

信金は限定された地域内の中小企業を主要な貸出先とし、その育成・発展に努めることを社会的役割とするなど、一般の銀行とは異なる種々の特性を有しております。中小企業や地域住民のための、協同組織による地域金融機関で、皆様が必要とされる資金の供給について積極的にお応えしています。今後とも親身で、きめこまかな金融サービスの提供を実践してまいります。



もっと知ってほしいなっ。 信用金庫

- 全国の信用金庫の数.....396金庫
- 店舗数.....8,674店舗
- 全国の信用金庫の資金量.....100兆円
- 全国信用金庫連合会の資金量.....15兆円

(平成11年3月末時点)

おかげ様で、上記のようになりました。心から感謝申し上げます。



コンピュータ西暦2000年問題について 当金庫の対応についてお知らせします。

- ①西暦2000年問題を視野に入れて、プログラムの西暦情報は、西暦2000年対応を行い、コンピュータシステムのソフト面については、ほぼ点検を終えております。
 - ②ハード面では、ホストコンピュータ、為替システム、端末機等は勿論のこと、自動ドア、ファクシミリ、シャッター、複写機等マイクロコンピュータ搭載機器についても、各メーカー等に2000年対応状況の照会を行っております。
- 以上、対応済みである旨の確認作業を行い、さらに確認テストを実施し、平成11年8月までに概ね終える予定です。
- 今後とも当金庫は、全従業員により西暦2000年問題に対応し、お客様にご安心いただける体制を進めてまいります。

つばさ延伸、新庄発進。



山形新幹線新庄延伸 平成11年12月開業

しんきんは街づくりを
サポートします。

新庄信用金庫

ホームページ <http://shinjo.dewa.or.jp/shinjosk/>

■本店/山形県新庄市本町2番9号 ■作成/本部(業務システム部) ☎0233-22-4222